

令和6年度 第1回市川町総合戦略会議録

会議名	第1回市川町総合戦略会議
開催日時	令和6年8月5日(月) 13時30分～15時40分
開催場所	市川町役場4階 相談室
出席者	委員：小野康裕、村田敏朗、村上昭人、山下彰彦、福山雅章、岩木和子、石川伸也、村上和男、小西正弘、濱田崇広、喜田美咲、藤田正広、長尾克洋 町：津田町長、尾花副町長、山下教育長、近藤地域振興課長、内藤企画政策課長、木村副課長
会議の議題	1 開会 2 あいさつ 委嘱書交付 3 出席者紹介 4 委員長、副委員長の選任について 5 協議 （1）令和5年度実施事業及び評価改善等について （2）次期総合計画・総合戦略について （3）市川町の課題と重点施策について （4）その他 6 閉会
会議資料	【事前配布分】 ・第1回総合戦略会議次第 ・令和6年度市川町総合戦略会議委員名簿 ・第2期市川町総合戦略進捗管理【R2-R7】 ・令和6年度市川町総合戦略会議 資料 ・総合戦略等推進チーム会議 意見抜粋 ・総合戦略（冊子）と概要版 ・人口ビジョン（概要版） 【当日配布分】 ・座席表 ・市川ハウスキャンプチラシ ・リフパー祭りチラシ ・がんばる農家さんパンフレット
あいさつ 町長	2 あいさつ 皆さんこんにちは。令和6年度第1回市川町総合戦略会議ご挨拶申し上げます。この度はお忙しい中、総合戦略会議にお集まりいただきありがとうございます。本日は令和5年度実施事業及び評価改善と次期総合計画・総合戦略、市川町の課題と重点施策等について協議をしていただきます。また、本日は委員の立場から今後の問題点やさまざまな提言または助言をいただいて、それを参考にしながら市川町のまちづくりを進めていきたいと思いま

事務局	<p>すので本日はよろしく申し上げます。 ありがとうございました。 それではまず欠席者の報告をさせていただきます。 英語講師翻訳家の吉田花梨様におかれましては、ご欠席ということでお聞きしておりますのでご報告させていただきます。 それでは続きまして、会議次第5の協議に入りたいと思いますここからの進行は小野委員長にお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。</p>
協議事項	<p>5 協議 (1) 令和5年度実施事業及び評価改善等について (2) 次期総合計画・総合戦略について (3) 市川町の課題と重点施策について (4) その他</p>
委員長	<p>協議事項1番の令和5年度実施事業及び評価改善等について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 委員長	<p>令和5年度実施事業及び評価改善等について説明 先ほどの説明に対して、意見、質問等ございますか。</p>
委員	<p>事業番号1番のまちのPRとしての観光交流センターですが、町外に向けた情報発信が非常に少ないと書いてありますが、他の自治体だと観光交流センターが中心となって情報発信をしています。例えば福崎町だと妖怪にまつわるドリンクを販売していますし、神河町ではフォトコンテストの開催は観光協会がしているイメージが強いのですが、市川町の場合は地域振興課がしているイメージが強い。観光協会と地域振興課との連携はどのようにされているのか。観光協会は水曜日にランチをしたりして、地域の方が立ち寄るイメージはありますが町外の方がもっと立ち寄るようになれば良いと思っておりますがどのように考えているのか。</p>
町長	<p>観光協会に関する事業ですが、喜田委員の言われる通り他市町は観光協会を中心とした情報発信や観光事業を行っています。市川町の場合は、観光協会に委託して運営していますが、観光協会自体が整備されていない部分が多くありますが、市川町の観光事業と一体となって進めていきたいと考えています。今年度はまだ委託のままですが、今後は市川町と観光協会と商工会とできるだけ一本化した中で事業計画案を進めていきたいと考えます。</p>
委員長	<p>以前に観光協会の事務所建物を増築して、ゴルフの体験館みたいなものを作ろうという計画がありましたが、商工会や私個人からもそうですが今は建物を建設する時代ではないということで地域振興課と協議した結果、今の移動式情報発信トラックが誕生したという経緯があります。 ところがこの進捗管理を見てみると、事業番号1番2番3番が同じような関連事業をそれぞれ観光協会、地域振興課、企画政策課とバラバラで同じようなことをしています。縦割りと言ってしまうえばそれまでですが、この辺の交通整理が必要だと思っておりますし、おそらくトラックに対しても導入をしてから一生懸命</p>

<p>町長</p>	<p>動いてPRをしていただいている。</p> <p>一方で町予算も結構かかっていますから、今後どうしていくのかということはある程度決めておかないと、ただ単に便利扱いで終わってしまわないように検討する時期が来ていると思います。</p> <p>情報発信トラックに関しては町に来られる人を待っているより、町を出て行ってPRをするというアイデアで進めています、トラックが稼働を始めて1年3ヶ月経ちましたが、どのような効果があったのか今後は効果検証を行っていきたいと考えます。</p> <p>ただ、トラックに関しては兵庫県からも高い評価をいただいていますし、訪れた市町からも非常に好評でした。いろんな地域と繋がりながら少しでも市川町に興味を持っていただきたいという思いで現在稼働していますが、来年4月以降は観光協会を町で管理したいと思いますので、一本化した観光事業を今後は展開していきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>喜田委員さんが福崎町で妖怪ジュースを販売されていると言われたのですが、町職員の方も色々なカラーのひまりんポロシャツを着ておられます。お隣の神河町ではマスクに町のキャラクターを印刷して、駅前の観光協会で販売していると思うのですが、そういうものを作成販売するとか、ひまりんポロシャツを一般の町住民の方も着ていただけるように販売して、町花のひまわりをアピールできるよう検討いただきたいと思います。もちろん帽子でもいいですし、食べ物はひまわりクッキーをゆうかり作業所が販売していますが、町をアピールできるようなものをもう少し検討いただけたらと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>ちょっと疑問に感じるところも正直ありますが、何のためにやるのか、市川町として観光事業はどこを目指すのかというところが定まっていない。近隣市町がやっているから同じようにやればよいというものではないし、住民がそういったことをやろうという空気の醸成が大事だというふうに思います。他にご意見ありませんか。</p>
<p>副委員長</p>	<p>事業番号4番、5番の地域を支える地場産業ですが、町内の商工業者の後継者不足問題について、事業継続できない企業に対する引き継ぎなどに対する支援の検討と補助金を考える必要がある、と記載があります。後継者不足の問題があるのであれば町として何か対策をしなければいけないと思います。</p> <p>次に2ページ目の地域振興課の担当の7番から13番までですが、具体的な政策として農林業を担う人材経営体の育成等の政策が記載されているが、農林業と書いてあるのに林業には何にも光が当たっていないように思います。</p> <p>県の緑税や国の森林環境税の一部がもし充てられるのであれば市川町の8割は森林ですので、森林を活かした林業の取組を何かすれば良いと思います。</p> <p>例えば間伐材を使った木工製品をイベント時に販売するとかして、市川町は林業に力を入れていますというところをアピールできればいいかなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>商工関係ですが商工会会員が現在370名あまりおられます。商工業者の加入率はほぼ100%に近い状態になります。ただ中身は60歳以上の経営者が58%です。ということは10年後には58%の経営者がほぼリタイアされます。後継者がいる事業者は指折り数えるほどしかいないのが現状です、商工会と</p>

地域振興課長

言いながら商業者が激減している状況です。お店が少ないですし、お店があったとしてもマックスバリュ、コメリ、ダイソーさんなどだけで、市川町内の中で循環できるような体制はとっくの昔に崩壊していると思います。

商工会として捉えて町行政と相談しているのは、廃業に向かうのではなく、誰かに譲渡して継続できる企業なのかを選別して、町行政と調整をしながら情報発信をしているというのが現状です。商工業者は工業系がほとんどで、ほかは建設土木関係が占めています。そういう状況ですから大半の58%の60代の方が1人親方いわゆる職人さん、それから美容院、散髪屋さんでこの3月末の確定申告が終われば一気に廃業される方がたくさん出てくるのが現状です。来年度は今年の倍は廃業者が出てくるという事なので非常に見通しは暗いという状況です。

創業支援の補助金に市川町も取り組んできたわけですが、あまり申請がありませんでした。市川町は事業所が増えることが少なく、本日も商工会と意見交換会がありましたが、今後は創業者ではなく創業してから、創業した後に対する支援を考えた方が良いという事になりました。ふるさと市川応援事業という事業を商工会でいただいているが町から昨年度は50万、今年度も50万、4年度は100万円予算化していましたが、事業をされる方が少ないということで100万円予算を組んでいましたが、昨年度については50万円にとどまった。今後はその予算枠を拡充して、創業者ではなく創業した後に何か補助をするということで新年度に予算化を考えています。

次に農林業ですが商工会の事業所と同じで農業についても後継者不足が大きな問題です。ただ個人的に思うのは人がいない、人がいないと言いますが、人口が少なくなっているのは市川町だけじゃありません。全国的なものであり少なくなっているからといって本当に人がいないわけでもありません。30代の方も地元におられるだろうし、40代、50代、60代、それなりに昔ほどはいないかもしれませんが、いないわけではないですよ。それを地元で引き出せてないという部分があるのかなと思います。後継者不足と言いますが、本当は人員はいるけど人材がいない状態だと思います。

人員はいますので人材を育てていくことが大事になると思います。あと農業に関してはコロナ交付金を使って、市川町独自の色々な補助事業をしてきましたが、林業については副委員長が言われた通り、森林環境譲与税が令和元年度から国から町に森林面積や人口割合で環境保全にお金がおりてきています。令和元年からの事業ですがこの表に上がっていないのはこの計画を策定した時には、まだ確定事項ではなかったのここには掲載していません。

実際には国から先行して令和元年度から470万円いただいています。令和2年度からは若干増えて約1000万円、令和2年、3年と同じく約1000万円で、令和4年、5年と約1300万円、令和6年度は1600万円です。使い道は間伐や造林などの山の手入れがしにくいところを整備するのに活用するものです。

経費がたくさんかかりお金にならないところは、誰も赤字を出してまで整備しませんので、そういったところを整備するために国が考えた政策です。

先ほど副委員長が言われた木工製品や地元の木材を使って何かをするという

<p>委員長</p> <p>委員</p>	<p>ような取り組みも可能ですので、昨年度は商工会と一緒に1年間いろいろな事業所を回って検討していただきました。例えば市川町で子どもが産まれたら積み木をプレゼントするとか、市川町産の木材で、市川町で作った木製品の食器をプレゼントするというような事を検討してきましたが、町内ではそのような事業所がありませんでした。木材に関する事業所については、過去には10社以上ありましたが、この30年間で大幅に減少して製材所は2社ぐらいしかない状況です。環境税については4年前から危険木伐採事業補助金に活用をしています。胸の高さで直径20センチ、樹高が5m以上の倒れそうな危険木で個人財産に危険が及ぶものに対して、伐採費用の4分の3で上限75万円を補助しています。また今年度から山の整備に活用をしています。市川町内の森林は荒れてしまって、山に入ることができない場所がたくさんあります。荒れている林道、作業道をまず整備する目的で2名の方と業務委託を締結しています。今年度は約1800万円を危険木の伐採、間伐、林道の整備等に活用している状況です。</p> <p>商工会にも事業者を紹介してほしいと依頼がありますが、町内の事業者さんは小規模すぎて対応不可能っていうのがほとんどです。</p> <p>資料の市川町人口ビジョンですが、これを見たら本当に冗談じゃなくてとても大変なことだと感じました。人口ですが34年前は15,105人で、現在は10,803人です。36年後には約5,000人になるということですが、それからもう36年したらゼロになります。市川町自体が存在しなくなります。傍聴されている生徒さんたちが80歳ぐらいになったときには市川町はなくなってしまうかもしれません。</p> <p>それぐらい深刻なことなのですが人口には自然増減と社会増減というのがあります。この中でコントロールできないのが死亡数。亡くなられる方はコントロールできないので難しいです。ただ出生数と社会増減の転入転出というのは、今までも9年間ぐらい総合戦略会議の中で議論されてきましたが、なかなか出生数も転入も転出も効果が出てないということになります。</p> <p>この中で一番大事なのは出生数ですので市川町で子どもを産んでもらわないといけません。ご夫婦がいて子どもさんを2人、3人産んでいただこうと思ったら、市川町に住宅を構えていただかなければなりません。市川町に住みたいけれども、家を建てられないとか、家を建てる場所がないとか、そのような形で近隣の市町にやむなく転居されている方を何とか抑制、制御できないのかと思います。社会増減の中の転出で言うと仕事の関係でやむを得ず県外や地区外に行かれる方は仕方がないですが、例えば近隣の神河町、福崎町、姫路市でしたら別に市川町から転出しなくても通勤することができます。故郷を捨てて出て行ってしまふところを何とか制御できないか考えると、やはり土地ですね。農業振興地域もありますが土地を確保して若い方が自分の住んでいるところの近くに住宅を構えるのが一番良いと思います。例えば千原の分譲地の話もありましたが甘地駅や鶴居駅前に分譲地を作ればJR播但線を使って通勤をしていただける。また、京阪神方面にも公共交通機関を使って遊びに行くことができますので、そういうことを考えていくようにしないとダメです。観光開</p>
----------------------	--

	<p>係で特にゴルフアイアンを中心に力を入れておられますが、観光ではなかなか人を増やすことは難しいと思います。</p> <p>巡り巡って色々なところに派生して市川町に住んでいただく事が一番大事ですが、観光事業で直接効果が出る事はなかなか難しいです。</p> <p>効果を出そうとするならば土地の確保、それから若者に対する支援、子どもに対する支援に集中的にやっついていかないと、この市川町の将来はなかなか難しいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>村上委員さんの言われているのは市川町人口ビジョンの推計の青いラインですね。青いラインの予測に沿って人口減少が進んでいます。</p> <p>進捗管理では 12 番の農業振興地域整備計画の見直しで土地利用計画に合わせて見直しを地域振興課がしています。一方で 14 番の企画政策課が分譲地や遊休地の活用を推進しているが、農業委員会との連携がどれぐらいできているのか。農業委員会は農業農地のことだけ考えてやっているし、企画政策課では人口増に向けて分譲地等の土地利用計画を策定している。これらの連携があるのかないのかを教えてください。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>農振農用地については農業を中心に考えていて違う方向に向けて何かをするとかは考えておりません。ただ農業ができない土地については企画政策課で他に何か良い利用方法がないのか考えています。ただ農振の除外をしないと何もできない場所もありますので、そういう区域については企画政策課で違う方面から計画を策定して農振除外できるよう進めているところです。</p>
<p>委員長</p>	<p>この辺は農業委員会としっかり話し合いができていますのか疑問に思います。町全体のビジョンの中で農業委員会もどのように考えているのか、双方の計画ですりあわせがおそらくできてないような気がしますでしょうか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>今の状態ではまだ耕作放棄地にはなっていませんので、農業委員会にも上がってきていない。そこが耕作できないっていう風になると、農業委員会の話にもなってくると思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>優良宅地と言えるような駅周辺の村の中の農地であるとか、村の中にポツンと農地があって優良農地と言われても納得がいかないところが正直ありますので、そのあたりの連携や一本化ができていない中で、町としてビジョンがあるのかなというところですね。</p> <p>要するに新宅を建てたいけど優良農地なので建てられませんという問題をよく耳にします。まちのビジョンとして描けていないので農業委員会と企画政策課が別々に動いている。結局は優良宅地とか優良農地がよくわからないまま来ているので、今までとなんら変わりがないように思っています。</p> <p>優良宅地にするためには水道局との協議が必要ですし、そうそう問題も絡んでくる。最終的には町のビジョンをしっかり立てないといくら議論しても始まらないと思います。なにかありますか。</p>
<p>地域振興課長</p>	<p>農振農用地については農振法、農地の転用に関しては農地法という法律に基づいてしていますので、町のビジョンというよりも農地法に基づいての転用等の許可を県がしますので融通が利かない部分はあります。</p> <p>私個人の意見ですが人口減問題といいますが、そんなに人口にこだわる必要が</p>

	<p>あるのか疑問に思います。昔は日本もこんなに人口が多くなかったし、ドイツは人口 8,330 万人、イギリスでも 6,770 万人、イタリアは 5,890 万人、日本がこの小さな島国で果たしてそれだけ人口が必要なのか。人口が増えるよりも質が大事なのかなと思います。それと日本全国が人口減少ということで問題視されていますが、例えば市川町が福崎町や神河町と比較して、近隣どうして人口の取り合いをしているようでは意味がないと思います。そういう事もあってこの移動式情報発信拠点トラックのアイアンハート号を作ったわけなのですが、町外や県外に目を向けて市川町のいいところを発信しています。例えば市川町は災害が少ない町でありますし、風水害や雪害もありません。地震に関しては日本全国どこに行っても起きる可能性はありますが地震は予知できません。能登、熊本、北海道の大きな三つの地震の発生する確率は 0.1%でしたが結果的に発生しました。地震に関してはどこに行っても発生するので仕方ありません。市川町は火山もないのでとにかく災害が少ないし、土地が安いのでそういったことを近隣に発信するのではなく、もっと広い範囲で発信することで市川町に目を向けてもらえると考えます。U ターン等で息子さんが帰ってくるのに農振農用地で家が建てられないのは、担当課としてもすごく心が痛いです。人口が減ってきている中で農地を農地法でここまで守る必要があるのかと個人的には思いますので、難しいですが市川町で特区を引いて農振農用地を全部なくしてしまうようなことを考えていきたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>ヨーロッパと比べると日本は人口密度が高いです。ただヨーロッパの場合はコンパクトシティで農地とシティとシティセンターがはっきりと区別ができてきているのが大きな違いですね。昔は林業が中心でしたから山の谷筋に人口が集中しています。そこがヨーロッパと違います。もう一つの違いは畜産振興がヨーロッパやアメリカはしっかりできている。農地じゃなくて畑地だから日本の農地よりも管理が必要ありません。農地と水田の違いは環境に大きく影響しますし、日本ももう少し畜産振興が進むのであればもっと管理しやすくなると思います。町としてそれぞれの担当課が連携をして農地、宅地のビジョンを持っていただかないと次の話に進んでいくのも難しいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>できれば市川町におられる方が、市川町に住んでいただくのが一番良い。せっかく市川町に住んでおられるのに他市町に転出してしまうのが一番つらいと思いますので、そこを検討していただきたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>町のあり方を考えるときに、あるもので考えるのも一つなのですが、今何もない状態でまち作りしていくことも大事です。例えばなマックスバリュがなくなった場合に市川町に住みたいと思うのか、出ていくのか、それでも住んでくれるのか、そこからまち作りを考えていかないと多分無理だと思います。あるものがあって当然の中で考えても将来的にはなくなってしまいます。人口減少のこの数字を見ると企業がここで出店するはずがないと思います。ない場合にどのようにしてここに住んでもらうのかを考えていくことが必要であると思います。</p> <p>続きまして協議事項の 2 番次期総合計画と総合戦略について事務局お願いします。</p>

事務局 委員長	次期総合計画・総合戦略について説明 それでは引き続き協議事項 3 番の市川町の課題と重点政策について事務局 お願いします。
事務局 委員長	市川町の課題と重点政策について説明 事務局より総合戦略と重点政策という説明をいただいた。これに対して何か 意見ありますか。
副委員長	空き家がどんどん増えていますが、先ほど説明のあった空き家の数 451 件は 全部の数字ではないと思いますが、この数字は廃屋等も含めた数字ですか。
事務局	どのような空き家を対象にした調査なのか詳しいことは確認しないとわかり ませんが、令和 5 年度に住民環境課で調査した数字です。 地区ごとの内訳は川辺地区で 120 件、瀬加地区で 86 件、甘地地区で 100 件、 鶴居地区で 145 件の合計 451 件ですが、空き家にも色々な種類があると思いま すが、区長に依頼をかけて区長から報告いただいた数字です。
副委員長	空き家を市川町全図に色分けをして、どこにあるのかわかるように記載でき ませんか。ホームページに掲載はしなくてもよいと思いますが、空き家バンク に登録されている空き家が一体どれぐらいあるのか知りたいですし、451 件の うち空き家バンクに何件登録されているのか。 それと私の集落は寺家という小さな集落ですが、超高齢化なので約 10 年前か ら少子化対策で若い世帯に子供ができれば、集落から 1 万円、自治会から 1 万 円の計 2 万円をわずかですが祝い金として渡しています。 少子化対策でこのような取り組みを行っていますが、私自身は上牛尾の中で起 こっている問題が、市川町の問題だというふうに思っています。小さなこの取 り組みが市川町を作っていると思っていますが、現実問題として少子化対策に どこまで効果があったかはわかりません。しかし、このような小さな取り組み が市川町内に広がっていけば、市川町の人口減を少しでも食い止められていく のではないかと思います。家が欲しいし、市川町に住みたい、でも家がない、 中古住宅でいいから市川町に住みたいという方に対して、空き家がどこにある のか、どのような空き家なのかをわかりやすく地図に落としていけば、区長か ら説明できるし、移住者に対してわかりやすい情報発信になると思います。
地域振興課長	空き家バンクでホームページに上がっている空き家は 18 件、そのうち賃貸 が 4 件、空き地が 30 筆空き家バンクに登録されています。先ほど言われた空 き家を地図に表示するという提案ですが、番地まで公開することは防犯上難し いです。ここが空き家だとわかれば泥棒が入ったり、物を盗ったり、勝手に誰 かが住んだりということにならかねないので番地までは公開することは難し いですね。空き家バンクでは家の外観や家の中の写真を掲載していますが、番 地は公開していません。市川町全体の地図で、この辺りっていうのであればピン ポイントで特定されないのでもいい案だと思います。 また空き家が 451 件もあるのになぜ 18 件しか掲載されていないのかは相続の 問題が大きいですね。空き家バンクに登録したけど、実際には相続できない、 できていないので取り下げられたものもありますし、抵当権がついているもの もありますので、そういった整理がまず必要でないかと思います。

副委員長	登録されている件数が少ないようですね。何とかもう少し地域住民が頑張っ て登録してもらうように働きかけていくことも大事だと思います。
地域振興課長	海外では 100 年から 150 年の中古住宅が普通に売れます。日本人は中古が嫌 っているイメージがあるので、そのあたりが見直されればいいと思います。
委員長	地域コミュニティの崩壊ですが、それぞれの区が成り立たなくなっている し、担い手がなくなっている。区の合併については財産も絡んでくる し、さまざまな問題があるのでなかなか難しい話になってきます。 ハードルの高い話の前段階でやらなければいけないことがあると思います。 それは何かというと消防団の合併です。消防団活動の合併をやっていくこと によって将来の区の合併や共同運営や共同作業の開催に繋がっていきます。 まず消防団員の定数の見直しが必要です。姫路市に合併した香寺、夢前町が一 気に姫路市の定数と同じ定数に消防団員数を減らしました。これで災害等の火 災で影響があるのかというほとんど影響はないですね。中播消防と消防団と の二重行政が成り立っている。そこに予算が二重にかかっているので予算がか なり減らせると思います。消防団の大きな見直し、それと年齢層の引き上げ、 この二つをやっていくと将来の自治会、自治体の合併に繋げていける前段階 の作業になると思いますし、これは全体的に必要な仕事ではないかなと思いま す。それともう一つは老人会の定数の問題です。老人会の年齢が 65 歳からで すので私も入会しましたが、町からの補助金をもらうために人数を集めたいか ら声をかけているという事でした。そういうことはやめる時代になってきてい ます。他の団体等でもそういったことが見受けられますので、そこはしっかりと 行政として見直す必要がありますし、その予算は子育てに回すべきだと思 います。他に何かご意見ありますか。
委員	先ほど副委員長から空き家の話が出ていましたが、市川町は会社が多い姫路 市に十分通勤できる圏内だと思っています。おそらく電車や車を使って約 30 ～40 分で通勤できます。最近よくニュース等の報道で豊かな自然の中で育 てがしたいという方も世の中には一定数おられますよね。わざわざすぐく山 奥のところに子供を連れて移住するようなケースも結構あります。 企業は今も多様な働き方を推進しなければいけないので、積極的に在宅勤務も できる企業が相当増えているという実態もあります。 そういうことを考えると職場は姫路だが住居と子育ては自然豊かな市川町で という打ち出しの仕方もありなのかなと思っています。 そういう意味では移住定住対策をしっかりと強化されるのが良いと思います。 ただ、移住定住してもらうためにはどこを売り出していくのかっていうこと になるかと思いますが、先ほど農地転用の話もなかなかすぐにはできないとい うこともご意見としてありました。そこで着目すべきは、この増え続けている 空き家ではないかと思っています。兵庫県でもこの空き家を地方会議の受け皿 として位置づけをして、令和 4 年に空き家活用特区の条例を施行したところ です。この特区条例っていうのは、市町が県にこの地域を空き家活用特区に したいという申し出をしていただいて県が指定をします。これに指定される ことで用途変更や空き家改修や建て替えを進めやすくなるというのもあり ます。

<p>委員長 町長</p>	<p>空き家バンクの登録にあたっての手続きに費用がかかると思いますが、そのような費用の補助がありますし、県の支援事業として空き家を改修する費用や老朽化して除去した方がいい物は除去費用の助成もありますので、これらの助成制度を活用できるメリットがございます。地域の事情もいろいろあると思うのですが、この空き家に着目して移住定住を進めていく作戦もご検討いただければなと思っています。以上です。</p> <p>この前福崎町が指定したものと同じですね。</p>
<p>委員</p>	<p>確かに福山委員の言われた通り福崎町が空き家特区の選定をされたと新聞報道で出ていましたが、市川町もこの制度には是非取り組みたいと思います。市川町の空き家の件数については、区長に依頼をして調査が終わったところです。そのうち何件がすぐに登録できるのか、早急に調べ直してできるだけ空き家バンクに登録していただけるように、また空き家データも興味のある方に公開できるようにしていきたいと思います。少しでも市川町に興味を持っていただきたい。姫路から播但線で約 30 分ですし、土地が安いというのも大きな魅力になろうかと思っていますので、住宅地の開発も大変重要です。町単独で開発するのかどうか町の財政問題もありますので、できるだけ一般企業に開発してもらえようように進めていきたいと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>JR 播但線というすごく恵まれた状況が市川町にはありますので甘地駅周辺、鶴居駅周辺の空き家を町や地域で把握して、問い合わせがあったときにすぐに空き家等について回答できるようにすれば良いと思います。中古物件でも私はいいと思いますが、新しい家でないと駄目って思われる若い世代の方もおられるので、分譲地や農地を宅地に転用してハイツ等の新しい生活を構えるようなものも数軒あればいいと思います。それと山の奥の方がいいという方で、車通勤を希望される方であれば瀬加の奥の方を案内できます。逆に鶴居、甘地の方であれば電車で通勤や通学ができます。しかし福崎止まりの電車が多いので、瀬加の方は福崎駅まで送迎をされている方が多いですね。JR との兼ね合いがあって難しいですが、利用客が増えることによって、少しでも福崎駅止まりを寺前駅まで運行するように JR との話し合いのテーブルに載せることはできないのかなと思います。JR 加古川線は小野までは電車が多く走っていますが西脇市までは多く行かないので西脇市や多可町が協力して JR に要望をしているので、市川町と神河町でも同じように要望活動を行って、より便利のいい状況を作っていくのがいいと思います。</p> <p>私は播但線の赤字ローカル路線のワーキングチームに参加していますが、JR は便数をもっと減らしてきてくると思います。わざと新幹線の乗り換えに間に合わないようにダイヤを変更してきます。これをやると住民の方は苦情を行政に言ってきます。行政から JR に言ってくれるように行政にしか苦情や要望を言わなくなります。そうすると JR 西日本の思い通りです。JR 西日本は地元の市町や国、県からお金を出してほしいというのが根本的な考え方ですね。兵糧攻めをして便数減らして不便にしていくと苦情は市町に行きます。市町は住民の意見を聞かざるを得ないので、お金をささざるを得ない状況にどんどん追い込まれていくと思います。私の勝手な思いですので間違っているかもしれません</p>

町長	<p>が、おそらくそうだと思います。</p> <p>ヨーロッパ、アメリカなんかのケースを見ても、上下分離式になっています。線路の下は国や自治体が管理し、上は自由に使用できる。JRはその方向性に持っていきたいというのが本音ではないでしょうか。</p> <p>委員長の言われる通りですが各市町の首長も朝来市で JR 播但線の活性化協議会に参加していますし、JR へも要望活動に行っていますが、先ほど言われたような JR の考え方が見てとれます。そういう状況の中で、播但線の活性化というのは非常に厳しい見通しを持たざるを得ないというのが実情です。</p>
委員長 委員	<p>路線が維持できるかどうかというところまでいくと思います。</p> <p>事業番号 25 番のこども園の利用状況ですが、町外からの利用は令和 5 年度で 46 名、令和 6 年度は 45 名の利用者がおられます。屋形こども園は定員 80 人に対して利用者が 80 人で 100%となっていますが、町外の利用者も含めての 100%です。それに令和 5 年度の出生数は 27 名ですよね。瀬加小学校では今年度の入学者が 7 名でしたが、来年度は 4 名に減ってしまうのが現状です。7 月にちょうど 1 人出産された方が身近なところでおられたので話を聞くと、この子の同級生ってどれくらいいるのか、とても不安があったと話されていました。産まれてからこども園はどこに行くのか、小学校はどこに行くのか、今から子育てをされる方が非常に不安な思いを持っておられます。</p>
教育長	<p>その方は働かれる予定だったので今年の秋の市川広報のこども園入園募集時に募集をしておいた方が良いと伝えました。評価改善等にも記載がありますが 0 歳、1 歳児については、年度途中の入所は保留にするケースもあったということですので、途中入所は大変難しい部分があります。特に乳児の場合は、こどもの数と先生の数調整が必要になってくるので特に難しい問題です。</p> <p>前の戦略会議の時に町長が少子化の関連で、今の市川町の現状では 3~4 年以内に小学校 4 校を統合して 1 校にしたいと言われていましたが、今後のこども園や小学校の方向性をきちんと決めて、保護者の意見も聞き、教育委員会とも協議しながら、住民に進捗状況を発信していただきたいと思っています。</p> <p>教育委員会から情報提供したいと思います。小学校の少子化はよく理解していますし、0 歳児までの人数も全部把握していますが、今年の 9 月初旬に小学校の統合に関するアンケート調査を 0 歳児から 11 歳までの保護者に対して実施する予定にしています。ただ、統合したいのか、統合したくないのかという質問だけではなくて、現状の市川町の人口推計、今後の事も含めて色々なデータを提供し、かつそのデータを読み解き方も説明して、できるだけ丁寧なアンケートにして集計しようと考えていますが、どのような結果になるのかは予測が付きません。あと 11 月に小学校の適正配置を検討する審議会を立ち上げます。それらのアンケート結果をもとに、今後統合をどういう形で進めていくのかについて、審議会の委員さんに協議していただき、年度内には方針等を出していきたいと考えています。</p> <p>こども園については、最終的に東こども園 1 園を想定しています。令和元年に約 10 年先を見越して、西こども園は改修、東こども園は新築しましたので、費用対効果を考えても 10 年間は利用していただきたいと考えています。</p>

委員長	<p>しかし、想定以上に少子化が進んでいますので、もう少し早くなるのではないかと予想をしています。ただ人数的に入れるからというよりも、給食のこともありますし、職員配置もありますので、単に要望を聞いてすぐに統合するというわけにはいきません。もちろん費用もかかりますので、多方面から検討して判断をしていきたいと考えています。現在の進捗状況としては以上です。</p>
委員	<p>いつも言っているのですが市川町に住んでいて 5 年後どうなるのか全然わからない。キャッチフレーズもありますが、どのような町を目指しているのかというのは人権文化には書いてありますが、それ以外にどのようなまちを目指しているのかよくわからない。学校統合についても一緒ですね。親にしたら子どもが生まれて小学校に入るときにはどうなっているのか全然見えてこないもので不安しかない。その辺を次の総合計画・総合戦略できっちりと決めていかないといけません。総合戦略も 9 年目になりますが人口減少に対してあまり効果が出ていないということは、思い切った総合計画・総合戦略を考えていかないと同じ結果になりかねません。ですから一体どのような総合計画・総合戦略をしたいのかしっかりと検討しないといけませんし、スピードが特に大事になってくると思います。町長には覚悟をもって進めていただきたいと思います。</p>
委員	<p>農地等の維持管理や農業経営者の育成という問題ですが、我々農業者は地域の農業、農地を守っているわけですが、今後は企業としてやっている我々と営農組合とを統廃合しないと維持管理ができません。営農組合自体も高齢化が進んでいますし、大体農業に従事する人がほとんどいません。そういう事を考えていくと地区別に農業組織の統廃合を行政とともに考えていかないといけない時期が来ていると思います。我々企業も限界に来ています。他の地区まで行ってまで農業ができないのが現実なので、瀬加地区なら瀬加地区、小畑区なら小畑区というように地域で地域の農業を考えるという方向性で統廃合しないと、絶対に個人では無理ですし、企業でも無理です。営農組合でも無理な時代が来ているので、もう少し農業者を交えた中で検討していただきたいと思います。</p>
委員長	<p>農業法人とか営農組合にあるメリットがどんどんなくなってきているように思います。雇用保険であるとか労働時間日数も農業は除外ということになっていますがグレーな部分が非常に多い。週 20 時間以上働く人はすべて雇用保険にはいらなければいけないという形になってきますし、メリットがどんどんなくなってきているので農業の法人化はとて厳しくなっています。</p>
委員	<p>私も 1 年前まではサラリーマンをしていて、30 年以上神戸まで 2 時間かけて通っていたのですが、仕事を辞めた段階で地元の方から営農をやってよということで 1 年経過しましたが、農地の問題も村田委員がおっしゃった通りで今はずっと助けてもらってやっていますが、それ以上に問題なのは、今後サラリーマンの定年が 65 歳から 70 歳に引き上げられることです。</p> <p>そうなる、もう我々の集落約 80 世帯の集落ですが、労働力の確保は無理です。70 歳に定年延長されることは社会全体で考えるととてもいいことなのですが、農業、農地を守っていくという意味では、いくら立派な機械を導入しても労働力の確保は無理だと思います。</p>

委員長	<p>若手を土日に何とか出てきてもらって、何とかやりくりしているのが現状で、1人か2人がけがをしたらもう回らなくなってしまいます。農業問題の裏には70歳定年延長が大きく影響しているという事を参考にしてほしいですね。</p> <p>農業政策は待ったなしだと思います</p>
副委員長	<p>次の総合計画・総合戦略はもう少し分科会的なものもある方がいいのかもしれないですね。中途半端な議論だけで終わってしまうから効果が生まれない。最後に何かないですか。</p>
副町長	<p>以前実施されていた資材支給事業ですが、住民が自らの手で住みやすい生活環境をするために資材を支給しますという目的であったと思いますが、一部の自治会が工事をすべて業者まかせにしてしまって本来の目的に合わない使い方をしているということで事業が無くなってしまったと記憶しています。工事を業者まかせにしないという条件を付けて、住民自らが自分たちの住んでいる地域をよくする、生活環境を良くしようという思いを持っているので、事業を再度復活していただけたらと思いますがいかがでしょうか。</p>
地域振興課長	<p>今は農業施設整備事業で最高60万円以上の工事については40万円の補助をしている事業がありますが、その前は自らの手で自らの自分の住んでいる地域を良くしようということで、原材料を支給するので住民自らの手で工事をするという事業で、町道等の町が管理している以外の農道や里道や水路を対象にしたものです。しかし、業者に丸投げをして本来の事業の目的に合わない使い方をされるということと、地元の働き手や若い方がいないので作業に出てきてくれないという現実があって、業者に丸投げをしているという事だったと思います。地域で草刈りやクリーンキャンペーン等の奉仕活動をしていただいています。町がとても綺麗になっていますので、こういった地元の力は行政からすると、とてもありがたいことです。補助金を出して地域を綺麗にする活動を引き続きしていただきたいと思っていますが、補助金の目的と地域の体制がマッチしていないという問題はあると思います。</p>
委員長	<p>町独自の協働のまちづくり原材料支給事業のことだと思いますが、今はそれに代わる国の多面的機能支払交付金がありますので、あの事業を復活する事は予算的には厳しいかと思っています。多面的機能支払交付金という国の事業と町独自の事業とは違いますが、町も財政的に厳しくなっていますので、国の事業があるのにさらに町独自の事業というのは難しいかもしれません。</p>
事務局	<p>続いて協議事項の4番その他について事務局お願いします。</p>
委員長	<p>その他について説明</p>
委員長	<p>次期総合計画・総合戦略は何でもかんでも全て行うというわけにはいきませんので、重点項目を絞って策定すべきだと思います。</p>
企画政策課長	<p>はい、私の与えられた時間がきましたので事務局にお返ししたいと思います。</p>
副委員長	<p>小野委員長どうもありがとうございました。</p> <p>閉会にあたりまして藤田副委員長よりご挨拶をお願いいたします。</p> <p>皆さん2時間休憩もなく協議していただきありがとうございました。市川町の人口ビジョンの話もありましたが、まさに危機的な状況でございます。人数</p>

企画政策課長	<p>が減ったからといって市川町そのものがなくなってしまうわけではないですが、自治体として対策は必要ではないかと思えます。</p> <p>本日は多くの各分野の皆様方から貴重な提言または助言をいただき本当にありがとうございました。今後とも見直し、修正を加えながら住民と行政が一緒になって市川町を作っていきたいと思っていますので、今後ともご協力ご支援よろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。</p> <p>次回の会議ですが、分科会については今後検討いたしますが、この全員の全体会については、来年の2月頃を予定していますのでよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。</p>
--------	--